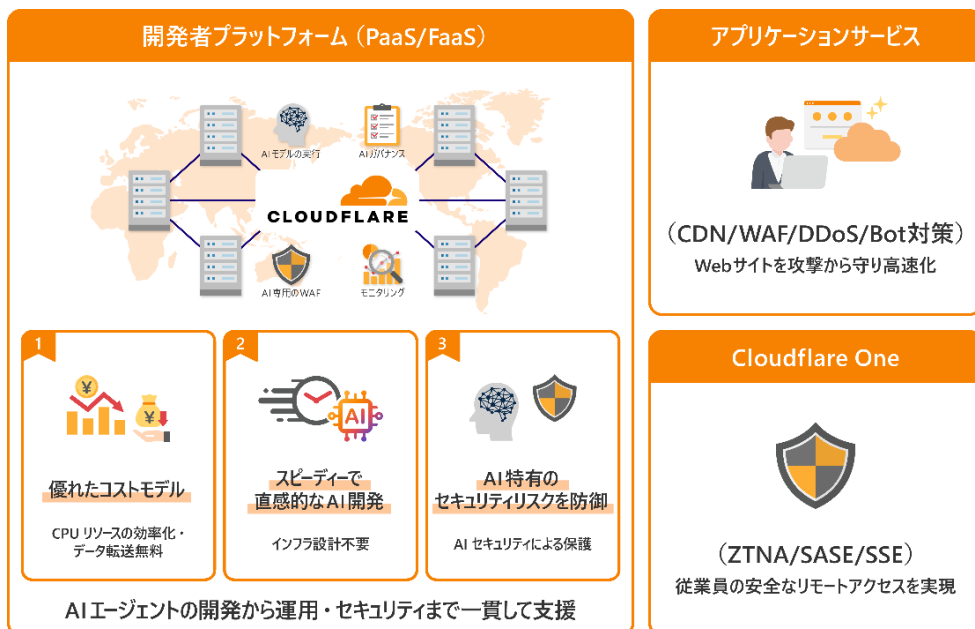


2026年6月22日
株式会社日立ソリューションズ

エージェント型 AI 時代へ、コストとリアルタイム性を両立するエッジ基盤「Cloudflare」を提供

AI エージェント開発環境に加え、ゼロトラストなどの高度なセキュリティや強固なインフラ基盤までを一貫して提供



「Cloudflare」の概要

株式会社日立ソリューションズ（本社：東京都品川区、取締役社長：森田 英嗣）は、Cloudflare, Inc.（本社：米国、CEO：Matthew Prince）とディストリビューター契約を締結し、世界に広がる拠点^{*1}で、AI エージェントの開発から運用、ゼロトラストなどの高度なセキュリティまで包括的に支援する「Cloudflare」を6月22日から提供します。エージェント型 AI 時代へ、業務に適した AI エージェント開発に加え、ガバナンスや IT 環境の全体最適化も支援します。

企業では経営から現場へと DX が進む中、IoT 機器や顧客から取得できるデータ量が急増しています。これらを活用するため、AI エージェントの開発が進む一方、従来のクラウド型アーキテクチャーでは、データ転送に伴うコストやレスポンス遅延、セキュリティリスクへの対応が課題となっています。Cloudflare は、インターネット全体でエッジ型アーキテクチャーを採用し、ユーザーに近い拠点で高速処理が行え、AI の開発・実行環境、セキュリティ対策までを提供します。自然言語での AI 開発も可能で、AI 特有のリスクにも対応します。企業はこれらにより、AI のリアルタイムでの活用や、データ転送のコスト削減、AI 特有のセキュリティリスクへの対策を実現できます。さらに、インフラ設計や構築も不要です。

日立ソリューションズは「DX by AX toward SX」をコンセプトに、価値創出と持続可能な社会の実現に貢献します。

*1 125 개국以上 335 以上の都市にデータセンター群を構築。サイバー脅威から日々、世界の Web サイトの 20%を保護している

「Cloudflare」の特長

- 1. 高速なレスポンス、低コストかつセキュアな開発環境により、AI エージェント開発の内製化を支援**
世界に広がる拠点のユーザーに近い場所で AI エージェントを開発し、実行できます。データ転送コストが抑えられ、また、AI エージェントの稼働時間のみが課金されるため、大幅なコスト低減につながります。さらに、インフラの設計や管理が不要となり、AI エージェントの迅速な開発から実行までを迅速に行えます。
- 2. AI 固有のリスクからサイバー攻撃までをワンストップで防御し、安心して活用できる環境を提供**
WAF、DDoS 対策、ポット対策で Web サイト、アプリ、API を保護するとともに、AI のプロンプトと出力をチェックして制御することで、プロンプトインジェクション^{*2}や機密情報漏洩も防ぎます。さらに、Cloudflare 上のトラフィックや不正アクセス、防御状況、AI やアプリケーションの利用状況を可視化し、企業の安全な AI 活用を支援します。
- 3. 包括的なセキュリティ対策に加え、シャドー-AI や IT も検出し、企業の強固なインフラ構築を支援**
従業員の安全な接続環境を確保する SASE^{*3}をはじめとする包括的なセキュリティ対策を提供します。社内システムやクラウドへのセキュアなアクセス環境を一元的に構築し、管理することで、AI エージェントを活用する企業の IT インフラのセキュリティ最適化と、安全で柔軟なハイブリッドワークの実現に貢献します。

*2 AI への入力内容を悪用し、意図しない動作や不正な情報出力を引き起こす攻撃手法

*3 Secure Access Service Edge：ネットワークとセキュリティの機能を一つのプラットフォームとして提供するクラウドサービス、またその考え方

今後の展開

日立ソリューションズは、豊富な実績を有するセキュリティ対策に加え、AI ガバナンスに関するコンサルティングや、データガバナンスを支援する「機密情報分類サービス」も提供し、企業の安全な AI 導入を支援していきます。今後も、AI エージェント開発の内製化の支援やセキュリティ対策を強化するメニューを順次拡充していく予定です。

これにより、AI エージェントの安全な活用をトータルに支援し、企業の競争力強化と持続可能な経営に貢献していきます。

背景

生成 AI の進展に伴い、企業における AI 活用は、情報検索や文書生成といった限定的な業務支援から、業務プロセスを横断して自律的に処理を実行する AI エージェントの活用へと大きく広がっています。特に製造業や流通業、社会インフラ分野では、現場のデータを活用しながら既存システムと連携し、業務の高度化や自動化を実現する動きが本格化しています。

一方で、こうした AI エージェントの本番運用においては、従来のクラウド中心型アーキテクチャーでは対応しきれない課題が顕在化しています。増大するデータをクラウドへ集約して処理する構造により、データ転送コストの増加や応答遅延が発生するとともに、接続範囲の拡大に伴うセキュリティリスクや運用負荷の増大が課題となっています。さらに、プロンプトインジェクションなど AI 特有のリスクへの対応や、ガバナンスを含めた統合的な管理も求められています。

そのため企業には、AI エージェントの開発から実行・運用に至るまでを見据え、性能、コスト、セキュリティを一体で最適化できる基盤の整備が急務となっています。

こうした背景から、日立ソリューションズは、企業の AI 活用を加速させる「生成 AI 活用支援ソリューション」のラインアップに、エッジで AI の開発・実行を可能とする「Cloudflare」を組み入れ、提供することになりました。これまで培ってきたデータガバナンスや AI 活用のノウハウと組み合わせることで、企業が安心して AI エージェントを業務へ展開できる環境の構築を支援します。

Cloudflare, Inc. Chief Partner Officer Tom Evans 氏からのエンドースメント

“We’re excited to welcome Hitachi Solutions, Ltd. as an authorized Cloudflare Distributor. Their strong regional presence further strengthens our growing global partner ecosystem. Through this collaboration, we’re enhancing our ability to support partners with the tools, resources, and enablement they need to drive meaningful growth.”

(和訳)

「日立ソリューションズを Cloudflare の正規ディストリビューターとして迎え入れることができ、大変嬉しく思います。日立ソリューションズの強力な地域プレゼンスは、成長を続ける当社のグローバルパートナーエコシステムをさらに強化するものです。この提携を通じて、パートナー企業が有意義な成長を遂げるために必要なツール、リソース、そして支援体制をより一層充実させていきます。」

「Cloudflare」について

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/cloudflare/>

「生成 AI 活用支援ソリューション」について

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/generativeai/>

日立ソリューションズについて

日立ソリューションズは、お客さまとの協創をベースに、最先端のデジタル技術を用いたさまざまなソリューションを提供することで、デジタルトランスフォーメーションを実現します。欧米、東南アジア、インドの各拠点が連携し、社会や企業が抱える課題に対して、グローバルに対応します。

そして、人々が安全にかつ安心して快適に暮らすことができ、持続的に成長可能な社会の実現に貢献していきます。

詳しくは、日立ソリューションズのウェブサイト(<https://www.hitachi-solutions.co.jp/>)をご覧ください。

日立ソリューションズの AX の取り組みについて

日立ソリューションズグループは、IT 人材不足に備えた生産性向上、市場での競争力強化に向けて、「DX by AX toward SX」というコンセプトの下、国内外の拠点の従業員全員が AI や生成 AI、AI エージェントを活用し、高い付加価値を創出することをめざしています。

具体的には、AI エージェントや生成 AI を活用した開発のユースケース、よくある社内問い合わせ対応など、特定の業務向けのチャットボットが集約されたイントラの専用サイトも整備しています。また、活用促進に向けて、アイデアや事例を募集する全社コンテストも開催しています。

ソリューションに関するお問い合わせ先

株式会社日立ソリューションズ

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/>

報道機関お問い合わせ先

担当：竹谷、安藤

株式会社日立ソリューションズ

経営企画本部 広報部

koho@hitachi-solutions.com

※ 記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL など)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
